



11/13~

出土品から知る、弥生時代の食事

唐古・鍵考古学ミュージアム令和3年度秋季企画展
弥生の食卓〜唐古・鍵遺跡の食事〜



12 研究集会「弥生時代・古墳時代の水田稲作技術を再検討する」(12月18日) 山田昌久さん(東京都市大学特任教授)を中心に、唐古・鍵遺跡史跡公園をはじめ各地で実験が進む弥生時代・古墳時代の水田稲作技術比較研究プロジェクトの成果報告が行われました **3** シンポジウム「弥生時代の食文化を考える」(12月19日) コメの品種、動物(イノシシなど)の種類、甕などの大きさの変遷、調理法などさまざまな観点からパネリストが議論を交わしました **4** 11月14日に学芸員が展示品の解説を行い、参加した人たちは熱心に耳を傾けていました **56789** 展示品の数々。多数の魚の骨、炭化米、イノシシの骨、内側に焦げがある土器、レンゲのような木製品…当時の食材の多彩さとともに、どのように獲得し調理されていたのか想像が膨らみます

に思いを馳せていました。

唐古・鍵遺跡からは、炭化米だけでなく植物の種子や動物骨なども出土しています。また土器にも、煮炊きに使われたものや、食器と思われるものがあります。それらから、弥生時代の人々がどのように道具を用い、食材を調達し、調理して食べていたのか…。来場した人たちはさまざまな展示品から「弥生時代の食事」に思いを馳せていました。

11月13日から12月19日にかけて、青垣生涯学習センター2階特別展示室で「令和3年度秋季企画展・弥生の食卓〜唐古・鍵遺跡の食事〜」が開催されました。



123 県立磯城野高等学校フードデザイン科生徒たちによる創作料理の試作会（11月30日）「当時の人たちはただ食べていたのではなく、さまざまな調理法を駆使しておいしく食べていたのではないか」という考えのもと、さまざまな創作料理が生み出されました 456 同生徒たちによる弥生の里ホールでの発表会（12月19日）貫頭衣を身に着けた生徒たちが、フリップを活用しつつ創作料理の数々を発表しました



県立磯城野高等学校フードデザイン科の生徒たちが、弥生時代の人々が食していたとされる食材をフル活用し、考案したさまざまな創作料理…その一部を紹介します

里芋コロッケをそばの実ごはんで、竜田揚げを黒米ごはんそれぞれサンド。奈良漬け入りタルタルソースでさらにおいしくなります。



S! バーガー

ひと手間かけたトッピングがさばと野菜のうまみを引き立たせる。皆大好きカレーライス。



さば奈良カレー

黒米のゆで汁を生地に練りこんだ紫色のパンを使って、話題のスイーツパンに仕上げました。



クロマイトツォ



弥生時代の味を意識して考案しました。おいしくできたと思います！

県立磯城野高等学校
フードデザイン科生徒

11月30日に試作会、12月19日に弥生の里ホールで発表会が行われ、カレーやライスバーガー、マリトッツォなど、同校フードデザイン科の生徒たちによる、枠にとらわれない柔軟な発想から生まれた数々の創作料理が発表されました。

県立磯城野高等学校フードデザイン科の生徒と、唐古・鍵考古学ミュージアムが協働し、唐古・鍵遺跡から出土した、コメ、マメ、魚の骨など、弥生時代の人たちが食していたとされるさまざまな食材を活用し、創作料理を考案しました。

県立磯城野高等学校と唐古・鍵考古学ミュージアムによる連携事業



火おこし・炊飯体験イベントが唐古・鍵遺跡史跡公園で開催されました。

唐古・鍵支援隊の皆さんの指導のもと火おこしに挑戦、懸命に木をこすり合わせ火をつけました。史跡公園でとれた米の試食では、米を土器で炊きあげ炊飯器で炊いた米と食べ比べました。

12/19

火おこし・炊飯体験 弥生の食事を体験



親子のコミュニケーションを高め、家族の絆を深めることを目的に、親子ふれあい体験教室が開催されました。6組の親子が参加し、木をのこぎりで切ったり、ビス止めをしたりして、協力してマガジンラックを作りました。完成した作品を手にした参加者は満足そうな表情を浮かべていました。

12/4

親子ふれあい体験教室 マガジンラックを作成



中央体育館を新型コロナワクチン接種会場として使用期間中、空調機リース契約により会場の室温維持にご尽力いただいた(株)アクティオと、災害時におけるレンタル資機材の提供に関する協定を締結しました。これは災害時に同社より、町の避難所などに発電機といったレンタル資機材を供給いただくことを目的としたものです。

12/21

(株)アクティオとの協定 災害時の対応力を強化



たわらもとジュニアバンドJ wings、北中学校吹奏楽部、田原本中学校吹奏楽部、たわらもと吹奏楽団による、第11回まほろばウィンターコンサートが弥生の里ホールで開催され、鬼滅の刃、ドラゴンクエストなどアニメ・ゲーム使用曲をはじめ多岐に渡るジャンルの演奏の数々に、来場した人たちは聞き入っていました。

12/12

第11回まほろばウィンターコンサート 音楽の力で、皆を元気に



小走玲子さんが、第49回奈良県障害者作品展の絵画の部で優秀賞を受賞したことを報告するため、森町長を訪問しました。小走さんは「缶コーヒーのプルタブや靴下の端切れなどで作品を作りました。切ったキウイの断面を作るのが特に大変でした」と、作品制作への思いを述べられました。

12/24

受賞報告のために表敬訪問 県作品展で優秀賞



県立磯城野高等学校ヒューマンライフ科の生徒によるおはなし会が図書館で行われました。「星に願いを」のハンドベル演奏「ふゆのよるのおくりもの」など絵本の読み聞かせ、トナカイさんが登場するパネルシアターやクイズなど盛りだくさんの内容に、集まった子どもたちは夢中になっていました。

12/18

高校生が読むおはなし会 子どもたちはお話に夢中



出場選手紹介

(敬称略/各列左から/後列左は小林紗也コーチ)
後列
川邊侑斗(南小6年)、水野航之介(平野小6年)
川上旺起(田原本小6年)、青木翼(北小5年)
前列
西本名甫(北小6年)、山本凜(南小5年)
栗山咲希(平野小6年)、川島一華(平野小6年)



練習の様子

長距離走の普及を通して子どもたちの体力向上と連帯感を養うことを目的とした「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」が今年も開催されます。本町では、昨年11月20日に選考会が開催され、小学5・6年生の男女ともにそれぞれ上位4人が代表に選ばれました。選手たちは本番に備え、毎週水曜日、午後3時40分から5時まで寒風の中、練習に励んでいます。

この大会は、3月5日(土)午前9時30分から檀原運動公園で行われます。



多神社で飛鳥川川辺のまちづくり多神社イベント「灯の路と大とんど」が開催されました。

神社東側の田んぼには、しめ縄などでとんどが組み上げられました。とんどに火がつけられ火柱が高く立ち上がると、参加者は燃え上がる炎に見とれていました。

1/5~

目指せ！優勝
市町村対抗子ども駅伝大会に向けて



キャラクターとのじゃんけん大会

赤い羽根共同募金啓発事業としてクリスマスイベントが弥生の里ホールで開催、会場には愛ちゃん(共同募金キャラクター)、タワラモトン、YAMATO 超人ナライガー・ナライガー KOKORO が登場しました。氷置晋さんによるミニコンサートでは、クリスマスソングなどが演奏され会場を魅了しました。

12/25

家族で楽しむクリスマスイベント
クリスマスを楽しみました



イベント広場で「能楽とハープの融合・ロマンの響き」イベントが開催。参加した人たちはアフタヌーンティーを楽しみつつ、能楽とハープによる美しい舞と演奏を堪能していました。同時にTawaramotoGarden 倶楽部による寄せ植え展が行われ、バラクラスタイルの寄せ植えの数々が会場を彩っていました。

12/25

優雅に楽しむクリスマス
「ロマンの響き」イベント・寄せ植え展

1/9

無病息災・五穀豊穡を祈願
おとんど



ボーイスカウト磯城第一団の伊藤彰夫さん(育成会長)、城戸琢磨さん(委員長)、隊員の井上小紘さん、高原航大さん、丸本大悟さんが町役場を訪れ、同団の歳末助け合い募金で集まった募金を寄附されました。コロナ禍により街頭募金が困難な中で、会員より寄附を募り募金を集められました。

12/27

困っている人のために
ボーイスカウト歳末助け合い募金